

富士川町

第62号

令和7年(2025年)10月24日発行



議会だより



はじめてのこども議会

富士川町議会

山梨県富士川町議会



第3回定例会

令和7年9月5日～9月19日

こども議会を7月31日に開催しました。
10人のこども議員が町に対する想いを提案し、町議会議員が講評をしました。

動画はこちらから

YouTube



井上 弥香 議員



提案

芸能人とコラボしたまちづくり

芸能人がサプライズで学校を訪れるのをテレビで見て、私の学校にも来てほしいと思いました。芸能人、VTuber、声優、刀剣乱舞とコラボすることで、町の行事を新たに作り、町全体を盛り上げていきたいです。また、コラボ特産品の限定グッズを作ることで注目してもらい、収益をあげることもできます。コラボを通して若い世代の地域離れも防ぐことができると思います。

講評

夢のあるわくわくする提案でした。町の記念行事でも若い人の声を活かして、誰を呼ぶか決めても楽しいと思いました。若い人の発想がこれからも町を元気にしてくれると思います。

本人の感想

いろいろな意見が出て、みんなの意見ができるだけ叶うといいなと思いました。

武居 和真 議員



提案

プログラミング教室の開催

町ではプログラミングを学べる機会がないことと、プログラミングの楽しさをみんなに知ってもらいたいため、町でプログラミング教室を開催してもらいたいです。場所はみんなが集まりやすいように役場の会議室がいいと思います。そのときは僕もスタッフとして教える手伝いをしたいです。実現したら、こどもみんなで町の困っていることを解決するアプリやみんなが楽しめるゲームを作ることができると思います。

講評

自分も教える手伝いをしたいというところに積極的に関わりたい気持ちや、みんなに喜んでほしいという思いが感じられました。

本人の感想

すごく緊張しました。でも文章をしっかりと考えておけばなんとかなると思いました。

P.1 表紙

「はじめてのこども議会」

こどもたちに政治を身近に感じてもらい、関心を持ってもらうことを目的に、「はじめてのこども議会」を開催しました。

P.2 目次

P.2～ こども議会

P.6～ 議会懇談会
意見・要望

P.8～ 9月定例会決算認定

P.10～ 決算特別委員会
レポートP.12～ 9月定例会で
決まったことP.14 請願2議案
発議1議案
決算審査意見

P.15～ 一般質問

1. 宇田川 朱恵議員
2. 深澤 一幸議員
3. 小林 和良議員
4. 斉藤 欽也議員
5. 秋山 仁議員
6. 小林 有紀子議員

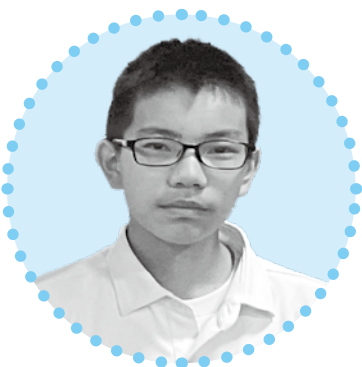
P.18 広報常任委員会研修会

P.19 モニターさんから
のご意見P.20 裏表紙
富士川町今昔物語

令和7年度

こども議会開催

おおもり はく 大森 珀空 議員



提案

犬のフンのない町づくり

毎日通う通学路や空地の近くの家の周りに、フン禁止や持ち帰りの看板が多く見受けられます。いきいきスポーツ公園や親水公園の入口にも立てられています。どうしてこんなに看板が立てられているのでしょうか。それは犬のフンで迷惑をかけられている人が多いからです。富士川町はペット共存のまちづくりを推進しています。皆が心をつにし、看板のない町を推進していきましょう。そうすればフン禁止の看板がなくなった誇れる町になると思います。

講評

ペットと共生する町ではないとの厳しい指摘でした。富士川町愛にあふれた素晴らしい意見に感動しました。

本人の感想

緊張したが、ためになり参加して良かったです。本当の議会の様子を知りたくなりました。

たけい 武居 あかり 議員



提案

リニア建設の反対

リニア工事のため普段あまり車の通らない道でトラックの排気ガスの汚染を感じたことと、工事のため伐採された場所は少し暑く感じたことです。たくさんのお金をリニア建設で使うよりも税金の引き下げに使った方がいいじゃないかと思いました。国民のことを思えば中止すべきだと思います。実現したら、暑い夏でも森に来て涼しいし、空気もおいしいし、地域も守れると思います。

講評

社会には様々な考え方があります。その中で勇気を持って自分の意見を発信する姿勢はとても大切で、今日のような発言は大きな意味があります。

本人の感想

楽しくでき、ためになりました。何人かで提案できるようにしたら、参加したい人が増えると思います。

おだぎり なお 小田切 菜桜 議員



提案

富士川病院を大切に守って残してほしい

私は将来地元の富士川病院で看護師になりたいと思っています。祖母が人のために働くことは大切なことなんだよ、と教えてくれました。私が看護師になるまで富士川病院を守ってほしいです。そして、医療の現場をもっとよく知るために、実際に働いている人の話を学校で聞きたいです。話を聞いて医療の仕事を目指す生徒が出てきたら嬉しいです。

講評

将来の夢がしっかりあることに感心しました。看護師は、高い倫理観と責任感を持って行動することが求められます。小田切議員はきっと素晴らしい看護師になると思います。

本人の感想

みんなの発表がとても上手で、参考になりました。次はもっと自分も工夫したいです。

くぬぎ しんのすけ
功刀 慎之介 議員



提案

戸川の河川整備

戸川は洪水浸水想定地域に指定されており、大雨時には我が家が浸水する危険性があります。幼いころは川原に降りて川遊びができましたが、現在は川面が草と立木で覆われて、流れが確認できず景観が良くなく川原遊びもできません。大雨が降った場合、流木などがあり氾濫する危険性があります。地域住民で土手の草刈りはしていますが川の中までは手が回らず限界があります。南アルプス市の滝沢川のように、景観と安全を両立できる本格的な河川整備を県に働きかけていただきたいと思います。

講評

昔の状況も調べ意見をまとめ発表され大変感動しました。町長は承知していると思います。関心をもって友達とも話し合ってください。

本人の感想

大変だったが、ためになり楽しかったです。町政についてより理解を深めたくくなりました。

しむら けいすけ
志村 京亮 議員



提案

**ホリデーバス、
コミュニティバスの障がい者、
高校生の無償化**

僕は梅林から富士川中学校まで徒歩で約30分通学しています。天候の悪い日や荷物が多い日は通学が大変で、親の送迎負担も大きいです。そこで鵜沢口7時30分発のコミュニティバスを利用出来れば7時46分に役場前に着きます。通学利用を出来るようにし、高校生以下の利用無料化を提案します。今は乗車料金が400円かかります。さらに障がい者や免許証返納者・高齢者も対象にすれば利用が増え人の動きも多くなり、地域の活性化にもつながると思います。ぜひ検討をお願いします。

講評

バスのことを非常に細かく調べ大変すばらしい提案です。町民からも要望が寄せられています。これからも町に働きかけていきたいと思っています。

本人の感想

議会のことを知り、ためになりました。政治には興味があるのもっと深く知りたくくなりました。

ふか さわ かず き
深澤 一希 議員



提案

**こどもチャレンジ教室の
開催**

鵜沢北区こどもクラブでは、子ども会議で話し合い中学3年生が中心になり小中学生が交流し学び合う活動をしています。僕は小学生からバドミントンに取り組み、自信を持って積極的に行動ができるようになりました。町が様々な活動に挑戦できる「こどもチャレンジ教室」の開催を提案します。町が企画し、スケボーやヒップホップダンス、ギター、ドラム、料理、生け花、和太鼓など多彩な体験を定期的に開催したら良いと思います。富士川町こどもの権利条例のとおり、こどもが多様な体験を通じて豊かに成長できる環境づくりの実現を期待します。

講評

たくさんのチャレンジ教室の提案はどれもすぐに始めたい内容で、こどもたちの成長につながる素晴らしい提案でした。

本人の感想

自分の意見を伝えることはとても大切だと思いました。議会の様子も知りたくくなりました。

町長、教育長から みなさんへ

望月町長からの講評

議会は町の意思決定の最高位にあるものですが、その発想は皆さんが今日話してくれたような日々の生活に直結したものが起点になります。生活をどう豊かにしていくかという視点が大切であるということに改めて感じ、皆さんの提案に感銘を受けました。

樋口教育長からの講評

自分も50年前に少年議会に出たことを思い出しました。日本は自分の行動で社会を変えられると思うこどもの数が他の国と比べて非常に少ないと言われていますが、皆さんの発想や提案が町を変えていくと思います。地域の集会や学校でも自分の意見を持つことを習慣にしてほしいです。

傍聴者の感想

自分の言葉で自分の思いを一生懸命話していて、とても感動しました。富士川町の未来は明るい希望が持てました。

●●● まとめ ●●●

議会では今後、こども議員からの提案を実行できるよう、関係機関へ働きかけていきます。



こまつ 未来 議員



提案

自転車事故のない町づくり

自転車がどこを走ってよいか知らない人が多く危ないと思うことがあります。これからは高齢化社会となり免許を返納する方も増えるし、長期休みでは児童生徒も自転車を使う機会が増えるので安全に移動できる町にしたいです。そのために、二つの策を考えました。自転車が通ってはいけない道にラインを引いてわかりやすく表示すること、もう一つは、交通安全指導を、自転車に乗る機会が多い中高生向けにこそ、学校や地域でしてほしいということです。事故が起きてからでは遅いので、今できることをしてほしいです。

講評

自転車をよく使う中学生だからこその提案でした。私も道路を改めて見たところ、もっと改善の余地が必要であり、歩行者にも注意が必要だと感じました。町とも協議していきたいです。

本人の感想

自分の意見を伝える場があるということは、とてもありがたいことだと思いました。

たみざわ あつや 議員



提案

町に商店街を作りたい

町にアメ横のような商店街を作り、名物名所をみんなに知ってもらいたいです。県外の人でも来やすいようにインターの近くに大型駐車場を作ります。町の生産者の方に協力をしてもらい、地域のを売るとよいと思います。町の特産物がたくさん並んでいたら幸せを感じます。商店街ができれば、町外の人でも楽しめ、地元の人には憩いの場となり、町が活性化します。中高生は寄り道できる楽しみが増えます。地産地消になるので、新鮮なものが手に入りSDGsにも貢献すると思います。

講評

とても楽しい提案をありがとう。ぜひ一緒に商店街を活性化させる取り組みを瀧澤議員とやりたいです。提案の中に中高生の居場所やSDGsなどたくさんのキーワードもちりばめられていたのも良かったです。

本人の感想

実際の議会のような経験ができて嬉しいです。役場の仕事ができるように生活に役立っているかもっと知りたいと思いました。

令和7年
1月～2月
開催

議会懇談会

意見・要望

61号に続き、62号も皆さまからいただいた意見・要望を掲載しました。
今後、国・県・町・区と分類してそれぞれに要望していきます。

町への意見・要望

- 増穂小学校から旧増穂商業高校までの通学路について、安全対策（グリーンベルトなど）をお願いしたい。
- 不法投棄が散見される、モラルの問題もあるが対策をお願いしたい。
- 町の公共交通機関を高校生などが利用しやすいように、充実をお願いしたい。また、高校生の利用も無料化できないか。
- 高校生の通学で公共交通が使えないため（一番近い青洲高校にもいくことができない）、送迎をなくてはならない。平林は坂が急でバイクの事故もあり、自転車も不安である。
- スクールバスへの要望を5年くらいアンケートで書き続けたが改善や返答がなく、卒業になった。町に言っても何も変わらない、無駄だと諦めてしまうので要求があった場合は返答をお願いしたい。
- 長澤1組の消火栓増設をお願いしたい。
- 空き家対策について、解体費用の助成と解体後の土地所有の減税措置をお願いしたい。
- 水害対策について、大雨の時に伐採された木材などが流され、橋にひっかかり、危ないと聞いた。ドローンなどを用いて山間部木材などの処理対策を考えていただきたい。
- 町の活性化として、コストコに来る客を町に誘客する対策強化、イベントなどの実施、観光マップの内容の充実を提案したい。
- 役場南のリサイクルステーションが汚いので、管理を頻繁に行ってほしい。
- 町の放送が大きくて迷惑なので考えてほしい。
- ダイヤモンド富士の鑑賞地域で、私有地の樹木が富士山の景観を損ねている。対応をお願いしたい。
- 町道、農道などで、道路脇の樹木が道路利用の障害になることがある。対応をお願いしたい。
- 町の事業については、時代に合っていないものがある。しっかりとした事業仕分けなどをお願いしたい。

- ドッグランを作るより土手の糞をなんとかしてほしい。
- 町の総合計画のパブリックコメント募集63ページにある、子ども110番は機能していないのに、計画に入れるのはおかしい。
- 子ども110番の標識が古くなったので、作り直した方が良い。
- ドッグランは駐車場から遠くて利用しづらい、対応をお願いしたい。
- 利根川公園を廃止して住宅地にしたらどうか。
- 耕作放棄地が増えているが、町が補助金を出して誰かに耕作をしてもらうことができないか検討をお願いしたい。
- 中学校の校舎や制服の検討も大事だが、いじめや多様性への対応を検討してほしい。

区への意見・要望

- 竹重にある長沢川の管理委員会があるが、いろいろな問題について困っている。コロナ前は地域住民で春と秋に草刈りをしていたが、コロナ後は、シルバー人材センターにお願いしていた。助成金をもらっても、人件費が足りない。今後どうするか。
- 現在の青柳地区集会所は耐震に問題があり、旧町民会館跡地へ水害やその他災害の避難所として青柳地区の集会所を作ってほしい。
- 区の役員について、なり手がなく見直す時期に来ているのではないか。
- 区、組へ入ることについては、条例などを制定するしかないと思う。
- 簡易水道の硬度が高いことなど、地区内で情報が共有されていないことがあるため改善をお願いしたい。
- 長年あじさい祭りなどのイベントを実施してきたが、あじさいの花が老木になってきており、管理が不十分である。さまざまな対策が必要である。

その他

- 河川敷清掃の安全対策と高齢者への配慮をしてほしい。
- 子どもには良い話ばかりで、お年寄りには良い話はない。

懇談会に参加していただきました皆さま、
貴重なご意見、ありがとうございました。

議会への意見・要望

- 議会と区長の連携強化をしてほしい。
- 子育て支援や社会づくりの提案の促進をしてほしい。
- 前町長の事件で議会としても何か責任を取る必要があるのではないか。
- 研修をどう生かしたか報告をしてほしい。
- 財政が逼迫している中、議会だよりにお金をかけ過ぎでは。

令和6年度

決算を認定

各会計の決算を認定した。

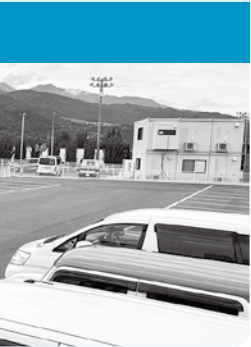
一般会計歳出総額

87億3,455万円

15周年記念事業などで5.6%増

執行された主な事業

保育園



新中学校整備事業など

9,101万円

(実施設計8,693万円・解体設計408万)



東別館他解体工事

1億5,818万円

新庁舎第二駐車場整備工事

3,235万円



198万円

ス設置工事



新中学校指定制服等
購入費補助事業

1,934万円



ドッグラン整備事業費など

1,325万円



町制施行15周年記念事業

845万円



富士川いきいきスポーツ
公園整備事業

1億1,417万円



1,562万円

1,018万円

新庁舎
周辺整備
完成！

富士川いきいきスポーツ 公園完成まであと少し！

令和7年第3回定例会が9月5日から19日までの15日間の会期で開催し、

3 財政を見る 3つのポイント

1 財政力指数 **0.346**

昨年度から**0.004**ポイント増

町の財政力を示す数値で、この指数が高いほど、財政力が強いことを示しています。

2 実質公債費比率 **9.9%**

昨年度から**0.5%**減

町が負担する借入金返済費用の割合。数値が高いほどほかの事業にあてる財源を圧迫することになります。

3 将来負担比率 **54.4%**

昨年度から**7.3%**減

借入金など将来支払わなければならない負債が、1年間の収入に対してどれくらいあるのか判断する基準。この割合が350%を超えないようにする必要があります。

まほらの湯・
かじかの湯
改修工事 **3,148万円**

まほらの湯・
かじかの湯
指定管理料 **2,750万円**

殿原スポーツ公園
法面保護工事

611万円



ふれあい広域体育館
LED照明交換工事

585万円



職員向けDX
研修業務委託 **4,950万円**

天神ゆずっこ
駐車場整備工事
1,689万円



在宅育児応援
給付金事業

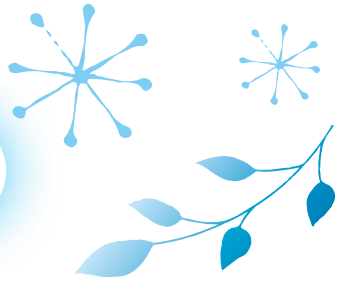
ATM屋外ブー
1,088万円



ふじかわまち
づくり公社報償

ふじかわまち
づくり公社補助金

会レポート



ひとづくり分科会報告

生涯学習課

問 はくばく文化ホールリハーサル室屋上防水工事624万円の内容は。

答 リハーサル室と廊下の天井から雨漏りがしたため、陸屋根の防水シートを張り替える工事を行った。



陸屋根

教育総務課

問 給食センター費の377万円増額の要因である物価高騰の状況は。

答 人件費の増による給食調理業務委託料の増と、賄材料費の高騰については、特にコメの価格の値上がり幅が大きい状況であった。

町民生活課

問 鯉沢サービスセンターでの住民票等の発行件数が減っているが、その理由は。

答 コンビニ交付が増えている。

子育て支援課

問 在宅育児応援給付金198万円の実績件数は。

答 204件の給付実績である。

財務課

問 研修講師報償等26万円の内容は。

答 人事評価研修のほかに、相談が多く財務課に寄せられた、カスタマーハラスメントの研修を行った。

福祉保健課

問 地域健康福祉センター、スポットエアコン購入費21万円を購入した理由は。

答 空調設備が古く調子が悪いため、全面修理を行うと金額がかさむことから、移動可能なスポットエアコンを購入した。



スポットエアコン

政策秘書課

問 情報セキュリティクラウド事業345万円の内容は。

答 山梨県市町村総合事務組合に一括して毎年委託しており、内容はセキュリティ上の監視やログの分析などを行っている。

決算特別委員

まちづくり分科会報告

都市整備課

問 富士川いきいきスポーツ公園コンクリート舗装工事4,021万円の完成検査において、表面の均一性の検査基準は。

答 県の基準を参考に10m間隔で高さを測定し、設計と合っていることを確認した。



いきいき
スポーツ公園

土木整備課

問 町有地危険木伐採工事578万円の内容は。

答 富士川病院と町営梅林第2団地の間の町有地にある危険木14本の伐採工事である。



伐採前



伐採後

上下水道課

問 下水道の管路維持管理事業において、公共下水道管渠清掃・テレビ調査業務委託605万円あるが、その調査結果及び委託箇所は。

答 緊急を要する修繕箇所はなかった。委託場所は旧鰍沢地区については元中銀東の町道等、旧増穂地区については役場南の町道等の路線を行った。

産業振興課

問 まほらの湯とかじかの湯の運営状況は。

答 まほらの湯の入館者数は89,597人、かじかの湯の入館者数は39,203人で、特にまほらの湯については1ヶ月当たりの入館者数が7,000人前後だったのに対し、バレルサウナ設置後の12月からは9,000人以上に増加し、ほぼ入館目標数となっている。

管財課

問 使用量及び賃借料108万円の内容は。

答 地籍情報処理管理システムのリース料で、専用端末、ソフトの更新が含まれる。

税務課

問 個人住民税が国の減税政策で、令和5年度より5,700万円程減収となっているが補填されないのか。

答 地方特例交付金として5,990万円が国から交付されている。

9月定例会 で決まったこと

令和7年度の補正予算案、条例改正案、報告案、指定案、契約締結案及び追加補正案など22件を審議し原案のとおり可決した。

● 一般会計 4,129万円増

● 総額 95億3,875万円 (対前年度比 5.2%増)

おもな一般会計補正予算

◆ふるさと納税報償金	2,000万円
◆グリーンスローモビリティ実証実験事業費	68万円
◆保育園(2園)LED照明設置工事費	1,752万円
◆町民会館・歴史文化館LED照明設置工事費	3,537万円
◆はくぼく文化ホール蓄熱槽防水改修工事費	3,026万円
◆やまなしKAITEKI住宅普及促進事業費	270万円
◆旧第2保育所駐車場農地復旧工事費	281万円
◆大法師団地筆界未定解消業務費	287万円
◆水辺プラザ公園給水管移設工事費	141万円
◆増穂小学校給排水管改修工事費	△6,115万円
◆学校施設環境改善交付金	△10,544万円



旧第2保育所駐車場 農地として返還

問 旧第2保育所駐車場農地復旧工事の内容は。
答 地権者に返還するに当たり、原状回復の契約に伴い農地として回復する経費である。

質疑

主な質疑を掲載

問 はくばく文化ホール蓄熱槽防水改修工事の内容は。

答 蓄熱槽防水シートが破損したためのシートすべての張替え(400・50㎡)の工事である。

問 公共施設LED化の予算が随所にあるが、以前当局答弁で有利な起債や国等の補助金で進めるとしていた。補助金がないものもあるが何故か。

答 単品交換では補助金はない。脱炭素化事業債などの有利な地方債を絡めて進めている。今回補助金がない物は単品交換の物が多くあるためである。

問 増穂小学校給排水管改修工事費減額の理由は。

答 令和7年度で全体の6割を工事する予定であったが、3割しかできなかったため減額した。

問 歳入で学校施設環境改善交付金が8435万円減額に

なった理由は。

答 有利な補助金として、富士川中学校建設事業に充てる予定であったが、交付決定されなかった。

■ グリーンスローモビリティ 実証実験事業について

問 実証実験の内容は。

答 フォレストモールを中心に市街地を周回する。

問 最高速度20km/hでは高齢者の足にならないと思うが、参考にした先進地事例はあるのか。

答 新たな公共交通機関として考えている。県内では丹波山村で運行している。

グリーンスローモビリティ



乗り合電動自動車

契約締結案 4 件

■ 旧鵜沢中学校体育館屋上防水改修工事請負契約 8,170万円

■ 富士川中学校校舎
建設主体工事請負契約 18億8,430万円
機械設備工事請負契約 4億1,690万円
電気設備工事請負契約 2億5,080万円

問 新中学校の建設に関する契約が、一般競争入札でありながら全て1者入札であったがそれは何故か。

答 結果的に1者になった。

条例改正案 3 件

■ 職員の育児休業及び勤務時間について一部改正を行った。条件を緩和・拡大した。

■ 富士川町の町長及び議員選挙における公費負担を増額した。

■ 土地開発基金の運用について条例を一部改正した。

問 有価証券等で運用できるとなっているが実際に運用するのか。

答 「確実・有利な」運用を前提に、検討する。

報告案 3 件

■ 令和6年度財政健全化判断比率について

■ 令和6年度継続費の精算について

■ 教育委員会の事務管理・執行状況及び評価について

問 いじめの重大事態についての記述がないのは何故か。

答 報告書の記載に間に合わなかった。

指定案

■ フォレストモール内にあるトレーニング室の運営委託をブルーアースジャパンに継続委託した。



体カづくり、健康の場

請願2議案、発議1議案

請願2議案

- 学校の働き方改革・長時間労働是正の実現のための教職員定数改善と「カリキュラム・オーバーロード」の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願書
審査結果 採択 意見書提出
- 「再審法改正を求める意見書」採択に関する請願書
審査結果 採択 意見書提出

発議1議案

- 議員派遣を決定
 - ・ 目的
南海トラフ地震をはじめとする、大規模災害などの緊急事態が発生した際に、災害被害の拡大防止や議会機能の早期回復及び維持を図るため。
 - ・ 派遣先
愛知県幸田町
静岡県牧之原市
 - ・ 日時
令和7年10月21日(火) ~ 22日(水)

決算審査意見(抜粋)

- 令和6年度の富士川町決算は、一般会計・特別会計の合計で、歳入130億6,057万円、歳出125億3,882万円となり、形式収支額は5億2,175万円となった。また、翌年度の繰り越すべき財源を引いた実質収支額は4億9,306万円となり、単年度収支額は1億322万円、実質単年度収支額は4,263万円と、共に赤字となった。
- 本町においては、7つの大規模事業の内5つの事業が完成し、残り2つの事業が計画進行中である。人口減少や少子高齢化等の動向を十分に見極める必要がある。また、今後予想されるインフラ資産(上水道等)の更新費用等と、その他特に近年日本各地で線状降水帯等大雨による災害発生が顕著になり、それに対する防災・減災対策の強化も十分に考慮した綿密な財政計画が必要となるものと思料する。



市川三郷病院が診療所に!



経緯

- 令和7年2月、峡南医療センター企業団が「経営強化プラン」を一部改正し、市川三郷病院を無床診療所化して入院機能を富士川病院に集約する方針を決定。
- 当初は令和7年10月からの予定であったが、看護職員の退職や入院患者数の減少で病棟運営の維持が困難となったため、令和7年8月1日から入院機能を富士川病院に前倒しで集約することになった。
- 市川三郷病院の正式な無床診療所化および施設名称を令和7年10月1日に変更する。名称は「市川三郷病院」から「市川三郷診療所」となる。
- 今後は市川三郷診療所でこれまで通り外来診療を受けられ、入院が必要な場合は富士川病院へスムーズに紹介される体制になる。



診療所となる市川三郷病院

一般質問



動画はこちらから
YouTube



通告一覧全ての問と答は掲載されてはおりません。二次元コード及びCATVをご視聴ください。

通告一覧

1 宇田川 朱恵 議員

- 鳥獣害について
- 地域防災計画の見直しについて

2 深澤 一幸 議員

- 学校体育館にエアコンを早急に設置する考えは
- 災害時生活用水協力井戸について
- 持続可能な町を目指す施策について
- 買い物支援について

3 小林 和良 議員

- 豪雨への防災・減災対策について

4 斉藤 欽也 議員

- 学校教育について
- 町民体育館の建設について
- アニソン花火大会について

5 秋山 仁 議員

- AED(自動体外式除細動器)の活用について

6 小林 有紀子 議員

- いじめ問題対策の推進について
- 「COCOLOプラン」不登校支援の推進について

宇田川 朱恵 議員



問 鳥獣害対策の視点から広葉樹中心の森に転換する考えは。

産業振興課長 手入れがされず、荒廃した森林の増加が全国的な問題となっている。森林の持つ多くの機能を発揮させていくためには、適切に森林を整備していくことが必要である。町では森林整備計画に基づき、公益的機能を重視した森林整備を進めている。森林の広葉樹化については、ニホンジカによる森林被害の防除が必要なので、鳥獣被害防止対策の強化を図りなが

問 広葉樹中心の森づくりへの転換は

答 健全な森林の育成を推進する

ら、健全な森林の育成を推進する。

地域防災計画に住民の意見の反映は

問 地域防災計画に住民の意見をどのように計画に生かしていくのか。

防災交通課長 昨年度に実施した第3次総合計画策定の際に、町の皆様からいただいた防災への意見を参考とすることとしている。さらに、計画素案のパブリックコメントを実施し、広く町民の皆様からご意見をいただくこととしている。また、

地域防災計画を審議する防災会議には、自主防災組織の代表者に、参画いただく他、区長会においても、計画素案への意見を伺うなど、より多くの町民の皆様意見を聴取し、地域防災計画の見直しを進めていく。



柵の手前がシカの食害により荒れ地になった楕形山



問 学校体育館にエアコンを
早急に設置する考えは

答 早急な設置に向けて
検討する

問 政府は8月7日に「熱中症対策推進会議」を開き、首相が熱中症対策強化を関係省庁に指示したことを受けての町の考えは。

教育総務課長 近年の

学校体育館の現場は、気候変動の影響に伴う夏の猛暑によって、熱中症などの健康被害を引き起こす恐れは益々高まっている。

町では、本年6月定例会において富士川中学校体育館へのエアコン設置のための設計業務委託の議決を経て、明年度の設置に向けた事業を進めている。

国において「熱中症対策推進会議」により、対策の強化の指示が出された。町としては、小学校についても、早急な設置に向けて検討する。

問 臨時特例交付金を活用すると補助率 $\frac{1}{2}$ で整備できるが、更に町の負担が軽減する策はあるか。

教育総務課長 空調設

備整備臨時特例交付金は、避難所に指定されている公立小中学校等の体育館であり、断熱性が確保されていることが補助要件となつて

いる。補助率は $\frac{1}{2}$ で補助上限額は1体育館につき7000万円となる。この交付金は他の国庫補助金との併用は不可となっているので残り $\frac{1}{2}$ の整備費は、交付税措置のある学校教育設備等整備事業債を財源として活用したいと考えている。



他校の体育館に設置されたエアコン室内機 (写真はメーカー提供)



問 豪雨対策の雨水排水施設
整備計画は

答 浸水が発生している
区域から進めていく

問 雨水排水施設の整備計画はどのように進めていくのか。

土木整備課長 全体計

画の中において、小林、青柳町、大柵、長澤及び天神中條地区の一部の99・7ヘクタールを事業計画区域として、これまで雨水排水路の事業を進めてきた。

昨年度末までに、事業区域内で整備が完了した面積は、24・66ヘクタールであり、整備率は6・0パーセントとなっている。

町では、整備計画に基づき、道路の冠水や宅地への浸水が発生し

ている区域を優先して整備を行う。

今後、宅地化が進み、浸水被害が想定される区域については、事業計画区域に取り込み、整備を進めていく。

問 想定最大規模降雨量に基づく浸水想定区域の策定計画は。

土木整備課長 浸水想

定区域については、内水浸水想定区域図により浸水区域を定めるものである。

この区域図は、大雨や河川の水位上昇により、内水が排除されず、浸水が予想される地域

と水深を示す地図であり、水防法改正により、下水道による浸水対策を実施する地方公共団体に作成と公表が義務化された。

こうしたことから、雨水対策を実施している本町でも、今年度から内水浸水想定区域図の作成に着手する予定である。



大雨により排水路から水があふれ冠水した道路



問 小中一貫教育の実施は

答 小・中学校の連携及び交流を更に深める

問 小中一貫教育実施についての考えは。

教育長 小中一貫教育への取組みについては、不登校やいじめなどが増加する「中一ギャップ」が改善し、児童・生徒の学びの連続性が保持されるなど、多く報告されている。しかし、9年間に亘る教育課程・教育目標の作成や教員人事の複雑化等の課題がある。こうしたことから、小中一貫校の設置は考えていない。しかし、小学校から中学校への接続を円滑に行うためには小・中学校間

の連携が非常に重要である。今は、英語教育やICT教育で、小・中学校を一貫して教育するよう取り組んでおり、生徒指導会議は小・中学校と教育委員会合同で実施している。町としては、改めて小・中学校の連携及び交流を深めて行きたいと考えている。



運動場を共有していた
鯉沢小・中学校

問 アニソン花火大会の駐車場収益は

町民会館駐車場などを有料駐車場として利用する許可を出しているが、その収益はどのようにに処理されたのか。

産業振興課長 この収益は駐車場及び周辺の安全対策費、施設整備費などに充てることとしており、営利目的ではなく公益性のある運営と判断し、利用を許可した。有料駐車券購入者をはじめ、全ての方々にその旨を公演専用ホームページで周知した。



問 AEDの屋外移設は

答 他自治体事例を参考に検討する

問 町内公共施設25ヶ所に屋内設置している。AEDを屋外へ移設し、24時間365日使用可能とする考えは。

福祉保健課長 AEDは平成16年7月より一般使用が認められ、国のガイドラインに基づき公共施設25ヶ所に屋内配置している。屋外移設による24時間化は夜間・休日の対応強化につながるが、盗難・破壊防止のため頑丈な収納ボックスと温度管理装置が必要である。防犯カメラ連携や定期点検体制も不可欠であ

り、他自治体事例を参考に機器管理・防犯対策を検証し、費用対効果を踏まえた具体的導入案を検討する。

問 AED設置場所にサインボードなどを掲示できないか。
福祉保健課長 町の管理施設では建物出入口付近にAED表示板を原則設置し、反射シートや誘導矢印を併用している。町ホームページで設置施設名

と使用方法を公表し、民間管理分は日本救急医療財団作成の全国AEDマップで検索可能である。今後は広報紙、SNSなどで定期的に周知していきたいと考えている。



24時間いつでも使用できる事が求められます



問 今後の「いじめ」への対応は

答 学校全体で対応するように徹底する

問 いじめに関する調査報告書が公表されたが、今後どのように取り組むのか。

教育長 今後のいじめ問題に対する取組みとしては、引き続きアンケート調査等により、早期発見・早期対応に努めると共に、速やかに教職員間の連携を図り、学校全体で対応するよう徹底する。いじめ事案を把握した際は、学校から教育委員会への速やかな報告を徹底し、対応を図る。本町のいじめに対する対応は、いじめ防止対策推進法をはじめ富士

川町いじめ防止基本方針に沿って行っているが、より実践的な対応が図られるように、基本方針を随時見直し体制の強化に努める。さらに定期的に教職員に対し、実践的な研修を行う。

不登校支援「COCCOLOプラン」の推進を

問 校内教育支援センター（スペシャルサポートルーム）を全小・中学校に設置する考えは。

教育総務課長 スペシャルサポートルームは、個別の学習支援

や生活習慣の改善をサポートする専用職員を配置しなければならずスタッフ確保が課題である。本町ではスペシャルサポートルームに代わるものとして、授業や活動内容によっては、教室に入れない児童生徒の学習の場として空き教室を利用した別室での学習支援を行っているが、今後検討したい。



スペシャルサポートルーム「和みの部屋」(富士川中学校内)

広 報 常 任 委 員 会 研 修

7月11日に甲府市の山梨県自治会館で行われた、町村議会広報研修会に参加し、『次回から必ず生かせる! 議会だより』を受講した。参加11町村から提出された議会だよりと全国入賞した議会だよりを引用し具体例を示しながら、「手に取りたくなる表紙、内容が伝わる見出し、引き込む写真とキャプション」について学んだ。

8月28日に東京都渋谷区のLINE CUBE SHIBUYAで行われた、令和7年度全国町村議会広報研修会に参加し、全国43都道府県の広報委員が集まって研修を受講した。「インタビュー記事を足して読まれる広報紙にしよう」の研修では、記事の制作手順を学んだ。

今後の「富士川議会だより」に生かしていきます!



いずれの研修も、今までになかった内容でとても参考になった。また、紙面には必ず写真を載せているが、スマホを使った撮影方法は非常に興味があり、すぐにでも実践できると考えた。

モニターさんからのご意見



表紙・巻頭写真

1頁

- 「特にこれを見てもらいたい」みたいな見出しがあると良い。
- 町民の方々の活躍している画像があることで、議会だよりを「見よう！」と手を取る行動のきっかけになるのでは良いと思う。
- 少し空間が広い気がする。お客さん目線でお客さんが多く写っていた方が良いと感じた。

目次・こどもの権利条例制定

2~3頁

- 制定までの経歴が記載され良いと感じた。
- 条例の全文や内容がわかるQRコードの掲載があった方が良かった。
- なぜこの条文を載せるのか理由の前文が欲しい。

議会懇談会 意見・要望

4~5頁

- 分かりやすく良かったです。意見や要望の返答も知りたいです。
- 分類して書かれているので理解しやすく、フォントも読みやすいのが使われていて良い。
- 箇条書きの羅列なのでレイアウトの工夫を。

6月定例会

6~7頁

- 大きな文字で、使われる金額が強調されていて良い。
- 画像があることで何に使われるのがイメージしやすくなる。
- 予算額などについては、グラフなどを用いて欲しい。

質疑・臨時会

8頁

- 縦書き、横書きでデザインを工夫していて読みやすくなっている。
- 縦書きと横書きが混ざっていて読みづらい。
- 文字の太さや色分けの工夫で見やすかった。

一般質問通告一覧・一般質問

9~12頁

- 一般質問の見出しの近くに、いつ開催したのか記載して欲しい。
- QRコードから動画を拝見し、議会の様子があったことで興味深く見る事ができた。

一般会議開催・こども議会開催のお知らせ

13頁

- 太字や色で分けられていて見やすかった。
- もう少し写真、イラストを入れたほうが見やすい。
- 会議の様子とお知らせのレイアウトが分かりやすかった。

モニターさんからのご意見

14頁

- モニターの意見が見れるのは良い。
- 氏名がなく安心した。正直、実直な声に心がける。
- 他の方の意見が、今後の参考になった。

議会広報モニター委嘱

15頁

- 白黒よりカラーの方が良い。
- 写真と名前が記載され、モニターとして自覚と責任を実感した。

今昔物語

16頁

- 昔の貴重な写真を見ることができて価値があると感じた。
- 町内に昔あった駄菓子屋なども懐かしく、掲載して良いと思う。



その他、議会だより、議会活動、町政全般についてご意見、ご要望、質問など

- モニター目線で読むと、新しい発見もあり面白いと感じた。

富士川CATVによる議会の放映をご覧ください



定例会の議長あいさつ、町長所信表明および一般質問の様子は定例会開催月の下旬から富士川CATV(11ch)でご覧いただけます。

日程は、富士川CATV番組内の「富士川町からのお知らせ」および町のホームページの「富士川町からのお知らせ」をご覧ください。

なお、放映終了後に町のホームページにおいても視聴することができます。

スマートフォンは
こちらから



ホームページ掲載場所

富士川町ホームページ
(トップ)

町政情報

町議会

一般質問(録画)

富士川町

今昔物語

くらべてみました、
変わりゆくわが町の今と昔

町の東部開発はここから始まった

町道横通り線が開通し、旧増穂町と旧市川大門町を繋いだ富士川大橋の完成となったことで富士川町の東部開発は加速し今に至る。

青柳2丁目交差点



昭和50年代(撮影及び提供:今村一男氏)



現在の状況

富士川大橋



工事着手前(富士川町記録資料より)



工事完成(富士川町記録資料より)

富士川町の東部開発の原点は、青柳2丁目交差点より富士川大橋までの間を現道の拡幅工事や分筆作業を昭和53年3月に行い、町道横通り線として昭和62年2月23日に供用開始となったことである。さらに、富士川大橋が平成9年3月に完成し、旧市川大門町(現在の市川三郷町)と行き来が容易となったことも要因の一つである。

- 平成22年8月 富士川水辺公園(親水公園)完成
- 平成25年7月 道の駅富士川開業
- 平成26年 フォレストモール富士川開業
- 平成31年4月 富士川いきいきスポーツ公園一部供用開始
- 令和 6年6月 ドッグラン完成
- 令和 6年12月 富士川ヘリポート運航開始
- 令和7年度 スケボーパーク整備開始



富士川町東部の現在

目まぐるしくも確実に富士川町東部は発展しつつある。

広報常任委員会 委員長 深澤一幸 副委員長 神田雅也 委員 鮫田洋平・斉藤欽也・依田誠司・宇田川朱恵